

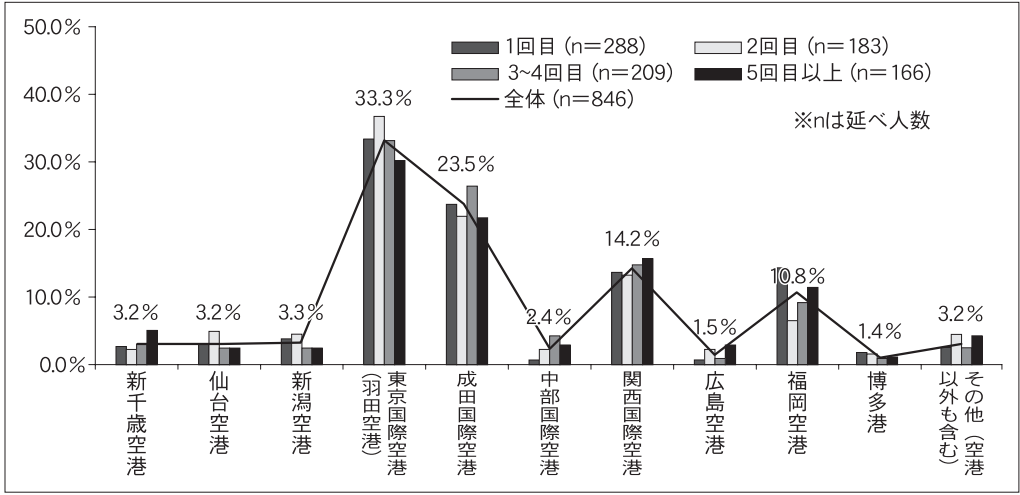
# 韓国、台湾からの訪日旅行(インバウンド)に関する調査

## 韓国

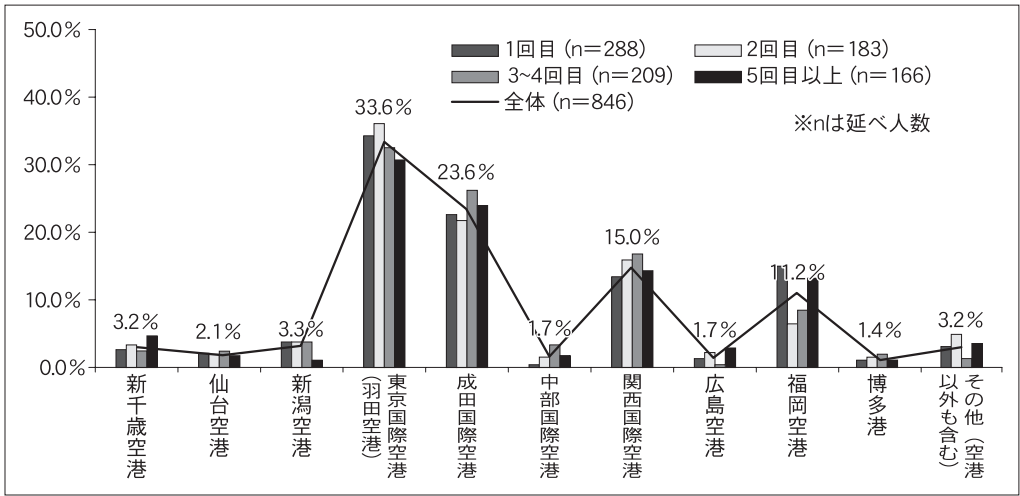
## JTB総合研究所

## 台湾

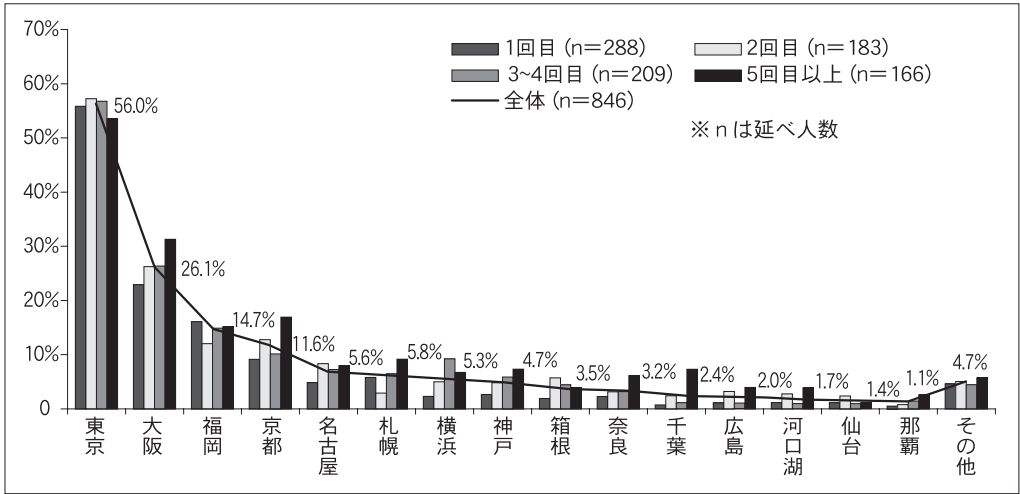
入国時の利用空港



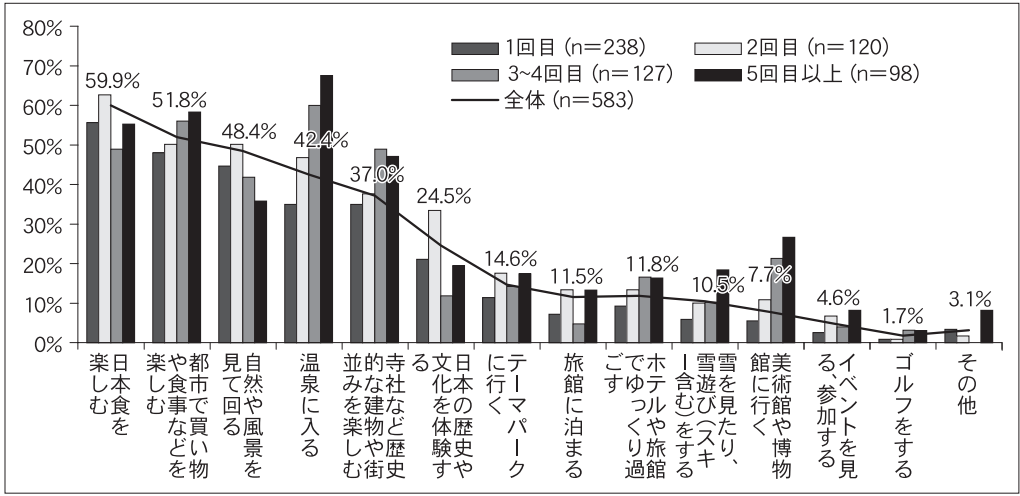
出国時の利用空港



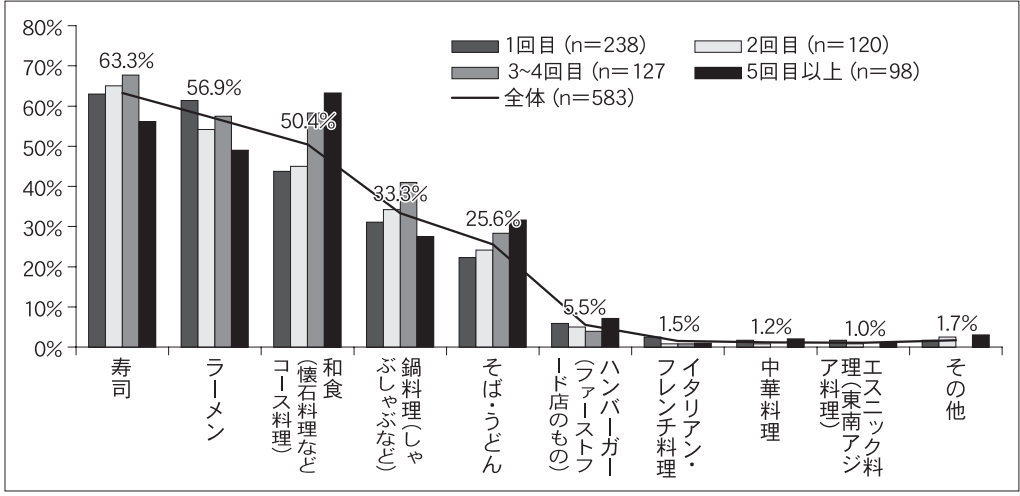
観光旅行中の宿泊地(複数回答)



旅行の目的(複数回答)



食べたいもの(3つまで選択)



次回、日本で特に行ってみたい場所(地名)

|     | 全体(n=584) | 1回目(n=239)   | 2回目(n=120) | 3~4回目(n=127) | 5回目以上(n=98) |
|-----|-----------|--------------|------------|--------------|-------------|
| 1位  | 東京 15.1%  | 東京 19.2%     | 東京 15.8%   | 大阪 14.2%     | 沖縄 18.4%    |
| 2位  | 大阪 12.3%  | 大阪 15.9%     | 北海道 13.3%  | 東京 13.4%     | 北海道 12.2%   |
| 3位  | 北海道 11.8% | 北海道 12.1%    | 沖縄 11.7%   | 沖縄 11.0%     | 札幌 11.2%    |
| 4位  | 沖縄 10.6%  | 札幌 7.5%      | 札幌 10.0%   | 札幌 9.4%      | 大阪 8.2%     |
| 5位  | 札幌 9.1%   | 京都 7.1%      | 大阪 6.7%    | 北海道 9.4%     | 東京 6.1%     |
| 6位  | 京都 5.7%   | 沖縄 6.7%      | 九州 5.8%    | 福岡 7.9%      | 京都 4.1%     |
| 7位  | 福岡 4.5%   | 福岡 4.2%      | 京都 3.3%    | 京都 6.3%      | 福岡 4.1%     |
| 8位  | 九州 2.2%   | 名古屋 2.1%     | 名古屋 3.3%   | ドイツ・ラント 3.1% |             |
| 9位  | 温泉 1.5%   | ドイツ・ラント 1.3% | 温泉 2.5%    | 富士山 3.1%     | ※           |
| 10位 | 富士山 1.5%  | 九州 1.3%      | 箱根 2.5%    | 温泉 2.4%      |             |

(※回答者1人のため割愛)

JTB総合研究所(日比野健社長)は、「韓国、台湾からの訪日旅行(インバウンド)に関する調査」を2月15~25日に実施し、その結果をこのほど発表した。ここでは、その調査結果を抜粋して、紹介する。過去3年(2010~2012年)の間に、日本へ観光目的で旅行経験のある韓国、台湾の18~69歳の男女を対象としている。

### 入国、出国は羽田空港の利用が多い

日本への入国・出国の際の空港、海港は韓国人旅行者、台湾人旅行者とも「東京国際空港(羽田空港)」が最も多く、成田国際空港に比べ10%程度高い。10年の羽田空港の国際化から3年が経ち、両旅行者にとっても羽田空港の利便性が浸透しているようだ。韓国人旅行者は地理的に近く、またフェリーが就航していることもあり、福岡空港や博多港の利用率が台湾人観光客に比べて高い。日本に入国・出国の際の空港、海港の組み合わせでは、多くは同じ空港、海港を利用しているが、入国が仙台空港や新潟空港の場合、羽田空港や成田空港からの出国パターンもみられる。こうした移動型の外国人観光客に、より周回してもらうための取り組みも各地域にとっては重要であろう。

### 宿泊は来訪回数が多いほど各地に分散

宿泊地は、韓国人旅行者、台湾人旅行者とも「東京」がそれぞれ56.0%、57.7%と最も高いが、韓国では大阪や京都、札幌、奈良、千葉が、台湾では名古屋や横浜、箱根、河口湖が、日本への来訪回数が増えるほど宿泊率も高くなっている。来訪回数が増えるほど東京の宿泊率はそれほど下がってはいないことから、日本への来訪回数が増えると、東京にも宿泊するが、それ以外の都市にも宿泊していることがうかがえる。

### 目的は韓国、台湾とも「日本食」

過去3年間のうち、直近の日本への観光旅行の目的は、韓国人旅行者、日本人旅行者とも「日本食を楽しむ」がそれぞれ59.9%、57.3%と最も高かった。「温泉に入る」は韓国、台湾ともに、来訪回数が増えるほど比率が大きく高まり、来訪回数5回以上の旅行者では選択率が最も高い。

韓国人旅行者で来訪回数が増えるほど高くなるのは、温泉のほかには「都市で買い物や食事などを楽しむ」や「寺社など歴史的な建物や街並みを楽しむ」「美術館や博物館に行く」だった。一方で「自然や風景を見て回る」は来訪回数が増えるほど低くなる。

台湾人旅行者で温泉以外に来訪回数が増えるほど高くなるのは、「日本の歴史や文化を体験する」「ホテルや旅館でゆっくり過ごす」「美術館や博物館に行く」だった。一方で「都市で買い物や食事などを楽しむ」は来訪回数が増えるほど低くなる。

### 寿司、ラーメン、和食が人気

食べたいものとしては、韓国人旅行者、台湾人旅行者とも「寿司」「ラーメン」「和食(懷石料理などコース料理)」の人気の高いが、韓国人旅行者では「和食(懷石料理などコース料理)」や、台湾人旅行者では「寿司」の人気の、日本への来訪回数が増えるほど高くなっている。

### 次回は韓国「東京」、台湾「北海道」

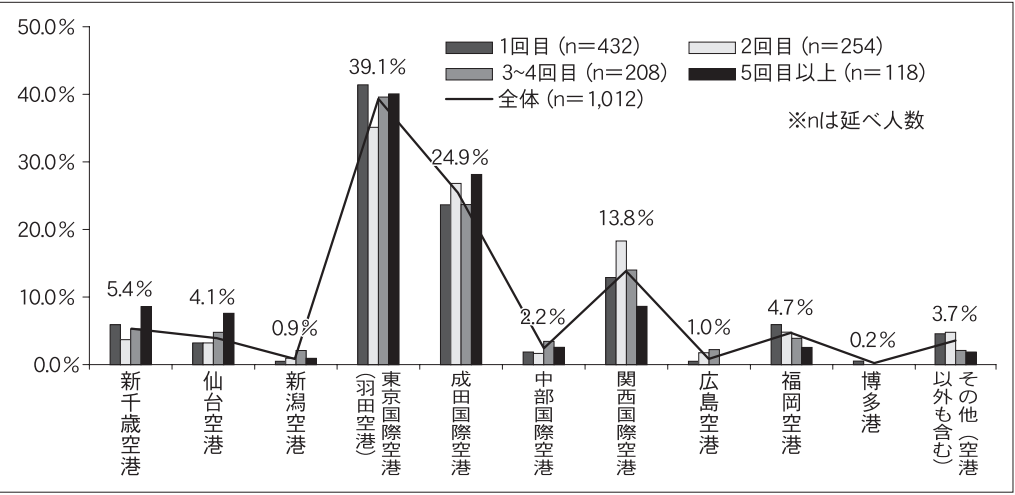
次回日本で特に行ってみたい場所(地名)を自由回答で聞いたところ、韓国人旅行者では「東京」が15.1%で最も多かった。訪問回数別にみると3~4回目では「大阪」が14.2%で最も多くなり、5回目以上では「沖縄」「北海道」「札幌」が上位3位までを占めている。行きたい理由の自由記述をみると、東京は「首都だから」「ショッピングがしたい」、大阪は「グルメ」「活気がある」などが挙げられ、韓国人旅行者はどちらかというと活気ある都市型観光の志向が強い。

一方、台湾人旅行者では「北海道」が33.3%で最多。また、訪問回数別にみても、すべてで「北海道」「東京」「京都」の順位に変動がない。行きたい理由の自由記述をみると、北海道は「雪景色がみたい」「雪遊びがしたい」、東京は「ショッピングがしたい」「テーマパークに行きたい」、京都は「文化の香りがする」「歴史的建築物がみたい」などがあげられ、雪のない国に住む台湾の人々の雪に対する憧れが強いこと、また日本の歴史文化への関心が高いことがうかがえる。

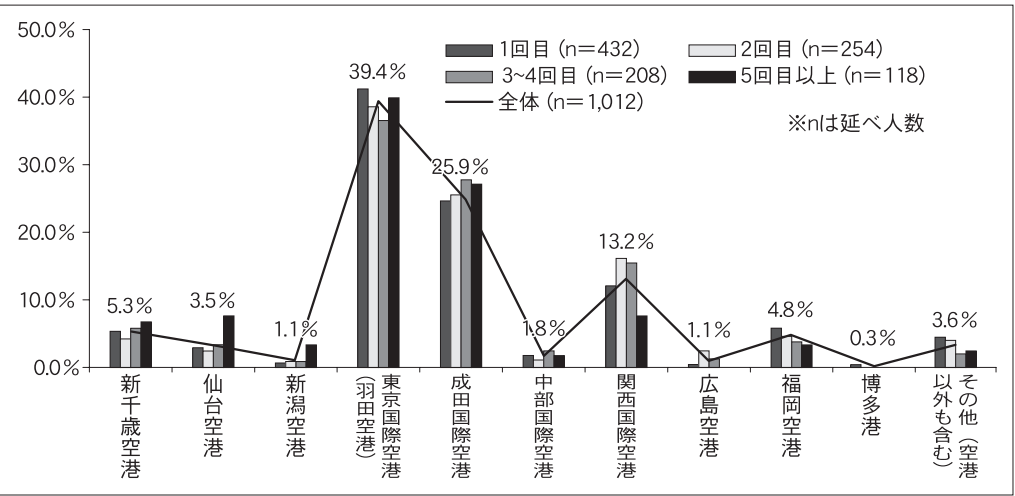
### まとめ

旅行者の来訪回数が増えるにつれて、「温泉」や「歴史」への関心が高まっている。一方で、日本の観光旅行の宿泊地や次回特に行ってみたい場所を問うと、大半は都市部を挙げている。温泉や歴史ある街並みの魅力により多くの外国人観光客に知ってもらうには、その周辺にある都市とセットで今後よりアピールすることも必要だ。また、入国・出国の空港、海港が同じである単純往復ではなく、空港、海港をかねて、より広域に周回してもらうような魅力の創出も、より多くの人にリピートしてもらうためには必要だ。

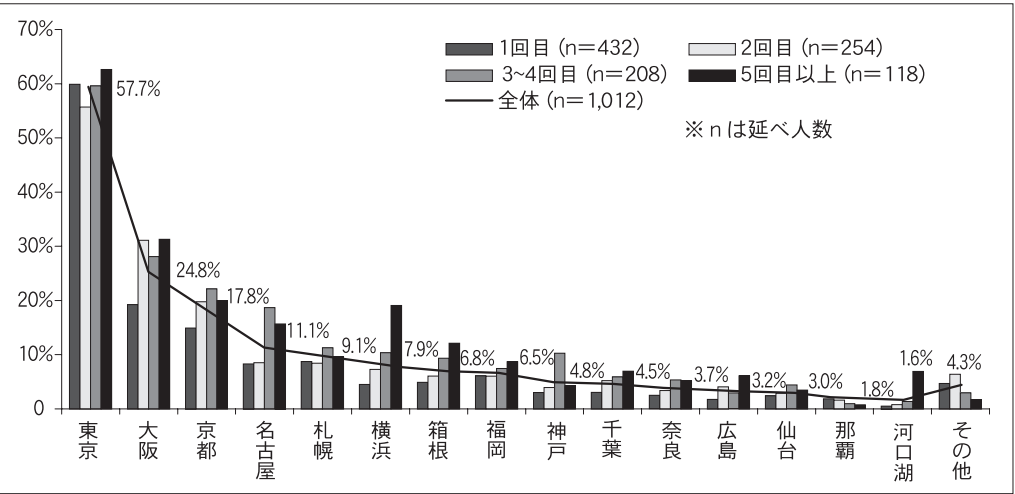
入国時の利用空港



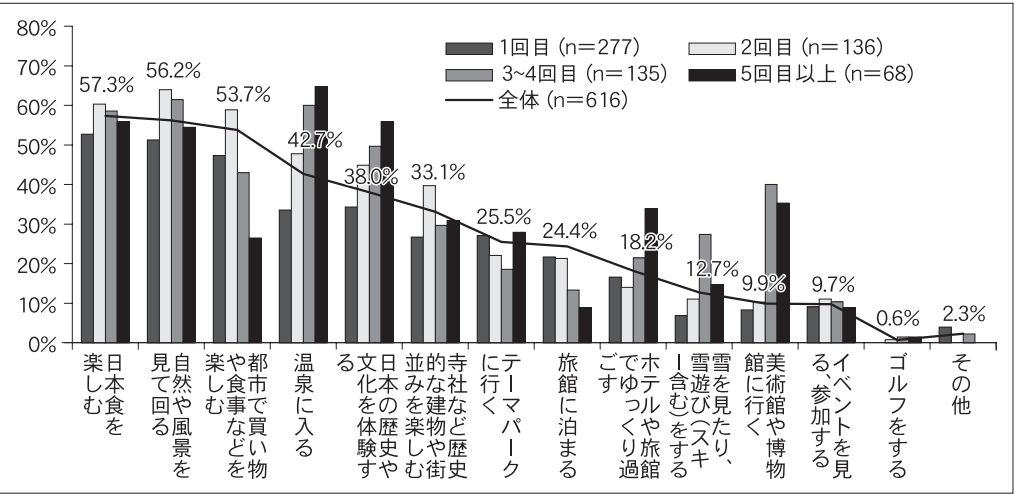
出国時の利用空港



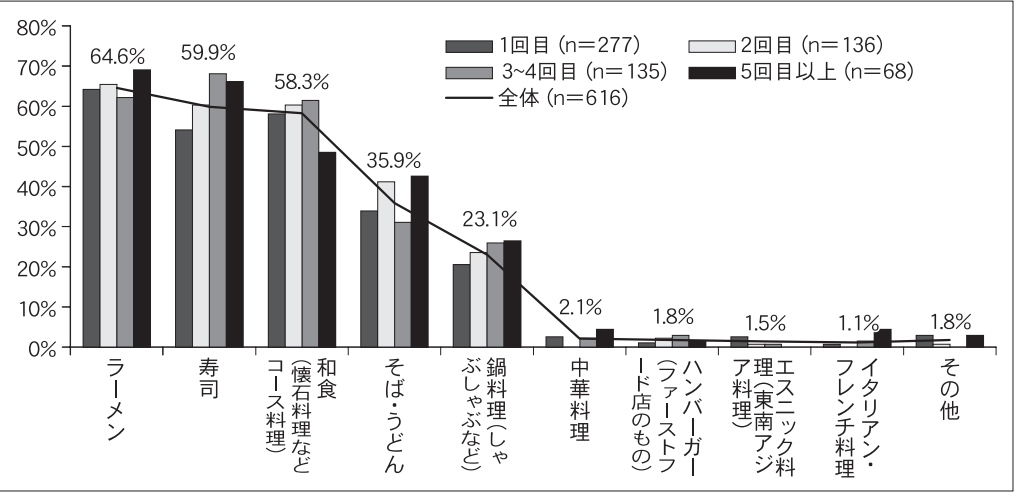
観光旅行中の宿泊地(複数回答)



旅行の目的(複数回答)



食べたいもの(3つまで選択)



次回、日本で特に行ってみたい場所(地名)

|    | 全体(n=616) | 1回目(n=277) | 2回目(n=136) | 3~4回目(n=135) | 5回目以上(n=68) |
|----|-----------|------------|------------|--------------|-------------|
| 1位 | 北海道 33.3% | 北海道 34.7%  | 北海道 27.2%  | 北海道 37.0%    | 北海道 32.4%   |